

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広東省一定規模以上の高齢者向け製品企業、売上高 6,500 億元を突破】](#)

[【中国初の越境 E コマース取引業者による低空物流航路の試験飛行、広州・東莞で実施】](#)

【広東省一定規模以上の高齢者向け製品企業、売上高 6,500 億元を突破】



高齢者向け教育プラットフォームからバリアフリー住宅改修、アンチエイジング商品からシルバーツーリズムにいたるまで、シルバーエコノミーが消費の「新たな人気者」となっています。3 月 28 日、「百団進百企 康養広東行」（政府主催の広東省内企業向け高齢者ヘルスケア関連の宣伝イベント）の第一弾として、ヘルスケア施設と企業の交流マッチングイベントが仏山市で開催されました。

2024 年、広東省の一定規模以上企業の高齢者向け製品企業の売上高は 6,500 億元（約 13 兆円）を超えています。今後、広東省は介護ロボット、スマートリハビリ補助器具、バリアフリー住宅改修など人気需要製品の研究開発を強化し、高品質でニーズに合致した製品の供給精度を高めていく方針です。

バリアフリー住宅改修製品の「リニューアル」に補助金を支給

現在、全国でシルバーエコノミーへの関心が高まっており、市場の見通しは非常に明るいと思われます。広東省工業情報化庁のデータによると、2024 年において広東省には一定規模以上の高齢者向け製品関連企業が 6,814 社あり、売上規模は 6,500 億元（約 13 兆円）を超え、前年比 10% の増加、高齢者向け製品に関連する 29 の細分類業種すべてが広東省に存在しています。

2024 年までにおいて、広東省では 131 社の企業と 202 製品が国の高齢者向け製品推奨リストに選定されており、この選定数は 3 年連続で全国首位を維持しており、特に仏山市、広州市、深圳市の企業と製品が多く選ばれています。

仏山を例にとると、高齢者向け家庭用品や介護サービス産業などに強みを持っており、当日のイベントにおいて、仏山市は 43 種類のシルバー向け新製品を発表し、8 つの投資プロジェクトの調印式が行われ、多くの主要プロジェクトが同時に着工となりました。

その中でも、広東香港マカオ（広東）シルバーエコノミー産業パークの重要プロジェクトとして、樂比（広東）健康バイオ医薬品企業本社及び生産・研究開発基地が着工しました。この総投資額 6 億元（約 120 億円）のプロジェクトは完成後、国内をリードするバイオ医薬・健康産業の革新的な「スーパーファクトリー」となる見込みです。

また、イベント当日には 2025 年仏山市バリアフリー住宅改修製品の「リニューアル」キャンペーンが正式にスタートしました。最大 30% の補助金が支給され、1 人あたりの累計補助額は最大 1 万元（約 20 万円）に達することとなっています。さらに、仏山市順徳区ではチャリティーのリソースを活用し、市の

「リニューアル」キャンペーンに加えて「リニューアル倍増計画」を展開し、より多くの高品質のシルバー製品が一般家庭に普及するよう後押しします。

シルバーエコノミー関連業界の基準・規範を整備

「約 7～8 年前から、私たちは高齢者向けヘルスケア製品の開発を始めました」と、アロー・ホームグループ株式会社の責任者は、同社が製品開発において、高齢者の身体的特性や心理的特徴、よくある疾患などを考慮し、より安全で快適に使える製品づくりを追求していると述べました。

「例えば浴室用の円形手すりは直径 35mm に設計しています」と同氏は具体例を挙げ、「このサイズなら握りやすく、滑りにくく、一般家庭や高齢者施設のどちらにも適しています」と述べました。

長年の製品開発経験を通じて、同氏が特に重視しているのは高齢者向け浴室製品の標準化レベルの向上およびヘルスケア施設が求める標準化要件を製品設計に反映させることです。

このような課題に対し、広東省は積極的にシルバーエコノミー関連の業界基準整備に取り組んでいます。「広東省シルバーエコノミー高品質発展促進及び高齢者福祉増進実施計画」によると、広東省は、省レベルのシルバーエコノミー統計指標体系を構築、医療・介護融合サービスや健康産業など新興・複合分野の業界基準を整備、各分野の品質管理・技術評価ラボと連携した第三者品質検査プラットフォームを設立し、企業が高齢者向け製品・サービスの品質評価・検証・認証の実施を促進していきます。

広東省在宅养老服务協会副会長兼広東シルバーサービス研究所所長である、北海道出身の白濱池華氏は、26 年間広東省でシルバー産業に携わってきました。同氏は「広東には強力な製造業基盤と貿易ネットワークがあり、シルバーエコノミー分野で大きな成長ポテンシャルがあります」と述べました。

【中国初の越境 E コマース取引業者による低空物流航路の試験飛行、広州・東莞で実施】



2025 年 4 月 1 日、越境 E コマース取引商品を搭載したドローンが広州市黄埔総合保税区において順調に離陸し、東莞市水郷河西デジタル産業区に着陸しました。これにより、中国初の越境 E コマース取引の都市間低空物流航路の試験飛行が無事に終了しました。

「広州黄埔総合保税区－東莞水郷河西デジタル産業区の都市間低空物流航路」デモンストレーションプロジェクト（以下「航路」）は、広州市開発区、東莞市水郷経済区が共同開発した都市間ドローン配達プロジェクトで、広州市－東莞市の低空経済分野では初めてのデモンストレーションプロジェクトでもあり、広州・東莞両地の協力による低空経済等の新興産業にて新たな進展があったことを示しています。当航路は、広州開発区交通投資集团有限公司の完全子会社である広州開発区低空産業発展有限公司により運営されます。広州開発区低空産業発展有限公司は主に、当航路の日常運行、ドローン配送・調整、飛行技術のサポートなどの作業を行い、低空経済分野のインフラ建設の改善を加

速させ、広州開発区、黄浦区の低空経済のハイレベルな発展を促進することに強固な保障を提供しています。

当航路は広州市黄浦総合保税区を出発点とし、東莞市水郷河西デジタル工業区を終点とし、所要時間はわずか 10 分と、陸上貨物輸送（約 50 分）と比べて時間を大幅に短縮できました。これは広州市開発区が、ローカル低空航路の開設、顧客宛のドローン直送、倉庫－店舗間のドローン直送などのビジネス成功に続いて、東莞市水郷経済区との密接な協力を通して、さらに航程・空間を更に突破した全く新たな試みとなりました。

広州市開発区、黄浦区は、広州市の低空経済発展のパイロットエリアとして「黄浦区低空経済適用分野典型例」及び「黄浦区低空経済適用分野機会リスト」を発表し、低空経済応用シーンを原動力として、低空経済の「新たなブーム」を巻き起こしています。2024 年、広州市の穗港智造協力区内の西区ワイン文化街（西区時光 99）において、黄浦総合保税区における「前ショップ、後倉庫」のモデルの発展のもと、極めて迅速に商品をピックアップできる中国初の「十分間速達保税体験ショップ」がオープンし、運営されています。中国初の総合保税区で中国初の越境 E コマース取引の輸入商品のドローンでの直接配送するビジネスは画期的な方法で完成し、保税体験ショップで注文した商品をボーダーを越えて低空配達で 20 キロ離れた顧客の元々に届けることに成功し、「保税展示＋新小売」の業態及び「越境 E コマース取引のハイスピード配送」モデルの融合的発展をまさに実現できました。

【参考資料】

- ・ 広東省一定規模以上の高齢者向け製品企業、売上高 6,500 億元を突破
- ・ 中国初の越境 E コマース取引業者による低空物流航路の試験飛行、広州・東莞で実施

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====